



令和2年(2020年)第49週 2020年11月30日(月)~2020年12月6日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報

厚生労働省ホームページ
「これって性感染症？」
QRコード



梅毒に注意しましょう!!

梅毒について

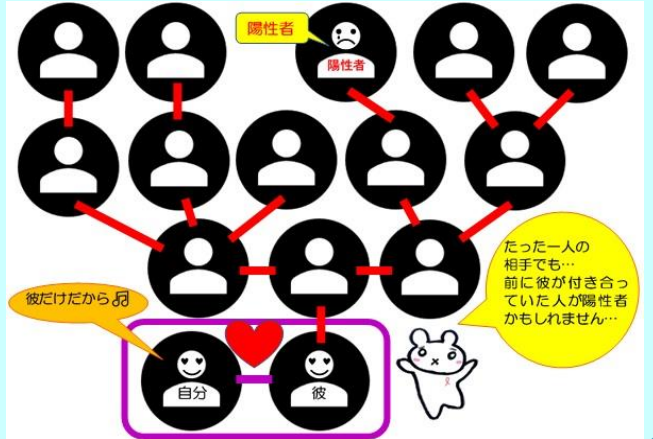


梅毒は全国では2013年以降、熊本市では2017年に入ってから急増しています。

熊本市は男性では20~50歳代、女性は20~40歳代で多く報告されています。2020年は12月6日までの報告数が全国5379人、熊本県(熊本市含む)120人、熊本市90人、熊本県内で妊娠中に梅毒が分かった例が5例ありました。妊婦の感染は流産や死産、赤ちゃんの先天性梅毒の原因になることもあります。また、HIV、クラミジア、淋病など他の感染症にも感染しやすくなります。性行為(口や性器)で感染し、キスでうつることもあります。

予防にはコンドームが有効です。不特定多数との接触を避けましょう!!無症状だったり、放っておいても症状が軽快することもあります。病気が進行していきます。自然には治りませんので、症状があるときは早めに、皮膚科、泌尿器科、性病科、婦人科などを受診してください。

「特定のパートナーとだけ」だからと、安心はできません。たった一人の相手でも、過去のパートナー、さらにそのパートナーが感染していないかまではわかりません。その中の誰か一人でも感染している人がいれば、あなたにも感染の可能性があります。性感染症は、誰にでも関係のある病気です。



早期発見・早期治療が大切!! 熊本市保健所ではHIV検査と一緒に梅毒の検査も受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。

熊本市ホームページ
「熊本市HIV(エイズ)検査・相談」
QRコード



相手「付き合ってください!!」⇒

自分「はい、喜んで♡じゃあ、一緒にHIVと梅毒の検査受けようね♪」
こんな会話が当たり前になる世の中になって欲しいと思います。
自分の身体も、相手の身体も大切にしましょう!!

期 間		2020年 48週		2020年 49週	
		11/23~11/29		11/30~12/6 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	19	1.19	9	0.56
感染性胃腸炎	➡	35	2.19	66	4.13
水痘(みずぼうそう)	➡	3	0.19	5	0.31
手足口病	➡	14	0.88	13	0.81
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	15	0.94	8	0.50
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	2	0.40	5	1.00
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00